

ニーズ調査結果報告書

・調査概要

対象：一般従業員全員（21人） 回収率 100%

1. 調査内容

<p><介護状況と見込></p> <ul style="list-style-type: none">・21人中5人が介護経験なしと回答。・現在介護をしていない／介護経験がないと回答した17人中10人が今後5年間のうちに介護する可能性があるとは回答。・介護をしている、または介護する可能性があるとは回答した14人中5人が介護することに対して不安を感じるとは回答。・また、不安を感じる理由として「介護がいつまで続くかわからず将来の見通しを立てにくいこと」と回答。
<p><介護関係制度認知状況></p> <ul style="list-style-type: none">・21人中11人が介護の相談窓口の「地域包括支援センター」について名称を知っているが利用方法はわからない／名称も利用法も知らない、と回答。・社内の相談体制について「相談できる雰囲気かどうか」という問いに対して14人中9人が、ない／どちらともいえない、と回答。・介護保険制度の内容の把握具合については、21人中18人が内容を熟知しており、「上記の中で知っているものはない」と回答した人はいなかった。
<p><仕事と介護の両立></p> <ul style="list-style-type: none">・14人中11人が「介護をしながら仕事を続けられるか」わからない／続けられない、と回答。
<p><介護が発生した際の望ましい働き方、制度></p> <ul style="list-style-type: none">・介護が発生した場合に21人中17人が休業制度や支援制度を利用しながら介護と仕事を両立させたいと回答。・また、21人中8人が介護休業期間中は仕事と介護の両立のための準備期間と考えている。
<p><労働状況></p> <ul style="list-style-type: none">・残業時間数について、「週の半分以上は残業している」と回答したのは21人中1人。・有給取得については、21人中3人が「希望通り取得できた」と回答したが、3人は「希望通りに取得できていない」と回答。（残りの15人は有給を取得していない為、わからないと回答）・上司とのコミュニケーションは円滑だと回答したのが20人中19人で、21人中20人が同僚や部下とのコミュニケーションは円滑だと回答。

2. 調査結果からの課題

従業員全体を通して、介護を行ったことがある／介護の窓口となる地域包括センターに関して良く知っている／介護保険制度の内容について詳しく知っている、など介護に関する基礎的な知識は持っていると言える。

介護が発生した際には介護休業制度や短時間勤務制度などを利用し介護と仕事の両立を行いたい、というニーズは多く、介護に関する社内の支援制度について、制度の内容を把握している従業員は約半数に上ったが、制度があることすら知らない従業員も少なくはなく、今後も周知徹底が必要である。